

● 活動目的

ボランティア室は、独立行政法人国立病院機構岡山医療センターの基本方針に基づいて、病院ボランティアにより患者さんが安らげる療養環境作りと地域社会に寄与することを目的として、平成17年に設立されました。

病院ボランティアは、病院の医師、看護師、その他の職員と協力して、患者さんに寄り添い、患者さんがもつ不安を軽くすることによって安心して治療を受けることができるよう、自発的に無償で、病院を利用する人のためにサービスを提供する人で、ボランティアの皆様には専門職ではなくてもできる仕事のお手伝いを行っていただいております。

● 活動状況

令和4年度における岡山医療センターのボランティア登録者数は13名(外来7名、読み聞かせ4名、裁縫1名、傾聴1名)。

新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら外来ボランティアと裁縫ボランティアは活動を継続。読み聞かせボランティアは、感染拡大防止のため面会禁止が緩和されるまで活動中止とした。

【活動中止期間】

読み聞かせ 令和4年4月1日～令和5年3月31日

【個別の活動状況】

外来・・・コロナ禍で病院と患者さんのニーズに合わせた体制作りをし活動

裁縫・・・小児病棟からの作成依頼にて活動。病棟看護師の協力があり、患者さん個人に合わせた医療ケアグッズを作成

新たに、一般病棟からの作成依頼へも対応

読み聞かせ・・・活動なし(コロナ禍等)

傾聴・・・依頼時に随時対応

【募集状況】

コロナ禍でもボランティアをしたいと意欲がある方から連絡が数件あり、3名登録に繋がった。情報はホームページから得たとのこと。今年度は学生からの問い合わせが多く、登録に繋がった方は3名とも学生(高校生と大学生)であった(病院広報誌ザ・ジャーナル Vol.17 No.2 2022.9月号に記事掲載)。